

シンボルのあるまちづくり

羽村市では、「やすらぎのシンフォニー」を基本理念に「シンボルのあるまちづくり」事業を平成2年度から実施し、市内の公園や街路等に象形物を設置してきました。

設置にあたっては、象形物全体の根底に流れるものが、羽村市の個性や特徴を表す一つとして内外にアピールできるものとなるよう進めてきました。

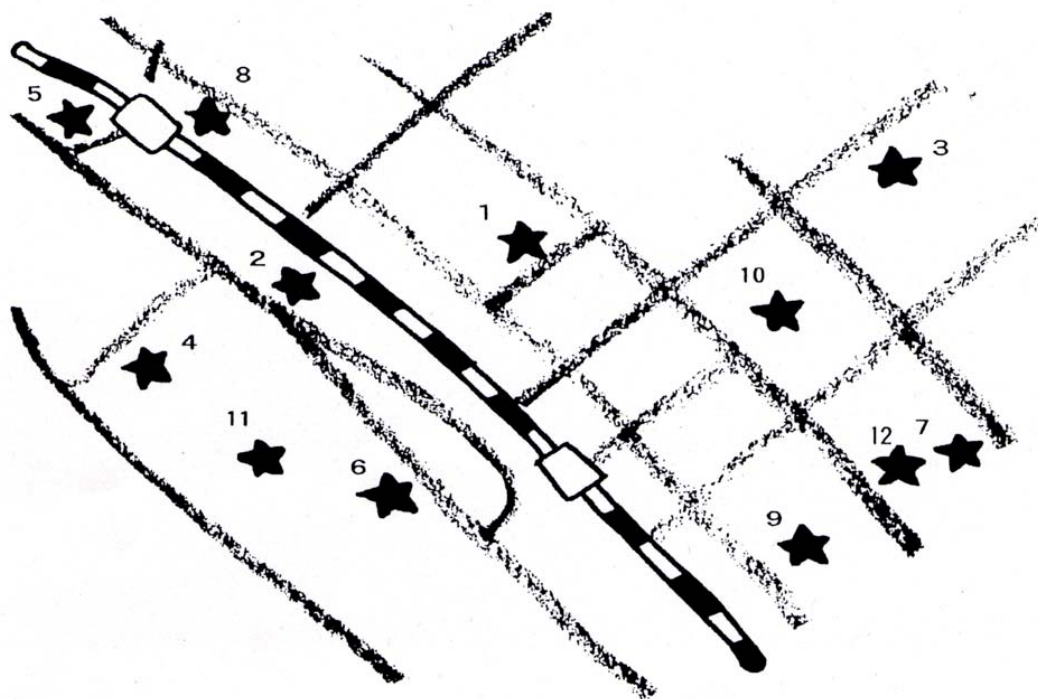
象形物が地域のシンボルやポイントとなり、また、市民が象形物を身近に接することを通じて、やすらぎやうるおいを享受できるようにしようとするものであります。

象形物を一つの音符になぞらえ、将来この象形物が羽村市全体にバランスよく配置されたとき、「やすらぎ」というシンフォニーとなって、まち全体に奏でられることを願っています。

作品は、当時羽村市に在住されていた著名な作家、中学生・OBなどに製作に携わっていただきました。

これらの作品は、今も市内各所で、羽村市のシンボルとして輝いています。

やすらぎのシンフォニー



1. 風の行方～やすらぎのアンサンブル

多感な思春期の少女が通り過ぎていったそよかぜの行方を見守る姿をイメージして、制作されました。

制作者
峯田 義郎

設置場所
羽村市富士見公園
(緑ヶ丘4-11)

設置年度
平成3年度



2. 躍動 *Shining Circle*

中央の大人が大地からのエネルギーを宙を舞う子どもたちに託してる様子をイメージして、制作されました。



制作者
エスターワルトハイマー

設置場所
羽村市スポーツセンター
(羽加美1-29-5)

設置年度
平成3年度

3. 蝶の夢

ゆっくりとまどろむ少女に健康な体、柔軟な心を表現するようイメージして、制作されました。

制作者
岩田 健

設置場所
スイミングセンター
(五ノ神319-3)

設置年度
平成2年度



4. こども

子供の無邪気で愛らしい姿をイメージして、制作されました。



制作者
藤岡 孝充

設置場所
宮地児童遊園

設置年度
平成3年度



5. ブレーメンの少女

園内で遊ぶ子供たちに楽しく陽気な音楽が聞こえてくるような作品として制作されました。

制作者

富田 憲二

山本 明良

設置場所

くすのき児童公園

(小作台3-11)

設置年度

平成2年度



6. 仲良し

交差点でいがみあうことなく相手を思いやる心を子供の像で表現するよう、制作されました。



制作者

藤岡 孝充

設置場所

新奥多摩街道

(羽中3-2付近)

設置年度

平成2年度



7. 風の少女

「子供は風の子元気な子」の言葉のような少女の姿をイメージして制作されました。

制作者

織本 亘

設置場所

三矢会館

(神明台4-4-9)

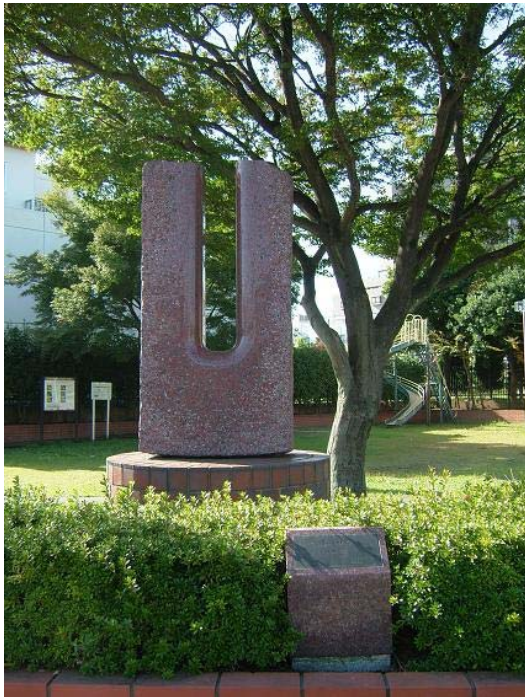
設置年度

平成2年度



8. 風の道標 *Sine of the Wind*

武蔵野の雑木林を吹き抜ける爽やかな感覚を表現するよう制作されました。



制作者

大成 浩

設置場所

もみじ児童公園

(小作台1-14-7)

設置年度

平成3年度

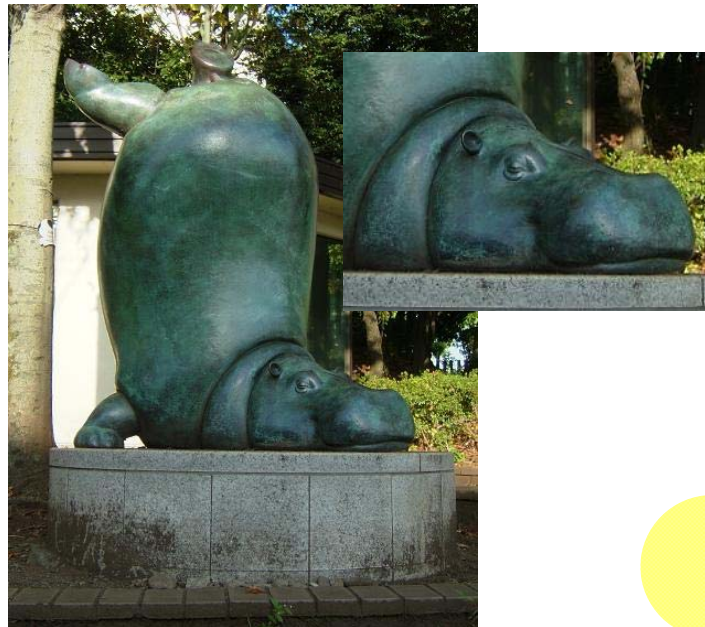
9. 風船かば

ユーモアをテーマに子供たちにやさしい空間を提供したいという思いから制作されました。

制作者
野口 裕史

設置場所
水木公園
(神明台2-1-4)

設置年度
平成4年度



10. 成長

手のひらのぬくもりによって、卵から大空へ羽ばたく鳥へと成長していく様子を表現するよう、制作されました。



制作者
小串 真理
羽村第二中学校美術部

設置場所
やまぶき児童公園
(富士見平2-4)

設置年度
平成6年度



11. 明日へ

「自らの道を 自らの未来を 切り開いていくために 明日に向かって 一步踏み出そう 若い力で」というテーマを作品で表現したいという思いから制作されました。

羽村第一中学校選択美術OBの山本さんと竹島さんが制作した粘土のエスキース（模型）を基に、美術科山本生人教諭の指導によって選択美術OB及び選択美術生徒が原型を制作し、それを鋳造したものです。

制作者

山本 篤、竹嶋 大、横山 裕也

羽村第一中学校選択美術有志

設置場所

羽村第一中学校正門西側

（羽中3-5）

設置年度

平成8年度



12. 森の精

すばらしい自然環境の中でこれからずっと生き続ける子供たち、「森の精」を表現するよう、制作されました。



制作者

羽村第三中学校美術部

設置場所

あさひ公園

（神明台3-31）

設置年度

平成10年度

その他 市内モニュメント

1. 平和と友愛

平和を愛し、人と人の融和を尊ぶ心やさしい人を乙女の姿で表現した。

大きく天に向け両腕を広げているポーズは、未来に向け大きく飛躍しようとしている“はむら”の姿を、その両腕が描き出す円弧は、市民相互の友愛と郷土愛を表現し、天空に向かい、大きくはばたこうとしている2羽の鳩は、永遠の平和への願いが込められています。

制作者 木内 禮智

設置場所 羽村市役所玄関前
(羽村市緑ヶ丘5-2-1)

設置年度 平成元年度



2. 期待

設置場所 羽村市役所玄関前
(羽村市緑ヶ丘5-2-1)
設置年度 昭和53年度



3. 羽村市民憲章

設置場所 羽村市役所玄関前
(羽村市緑ヶ丘5-2-1)
設置年度 平成3年度



4. 羽村市平和都市宣言

設置場所 羽村市役所玄関前
(羽村市緑ヶ丘5-2-1)
設置年度 平成7年度



5. 飛翔

市制施行を記念し、設置されたものであり、新しいはむらの姿を表現していくことを念頭に制作されました。

設置場所 富士見公園
(羽村市緑ヶ丘4-11)
設置年度 平成3年度



6. 羽村駅前モニュメント

この彫刻のもっともつよい特徴は、彫刻がモーターの動力で動いていることです。見る位置や方向や時間によって大きく変化し、見る人々の気持ちでも大きく印象が変わります。



この彫刻のイメージは、羽村市の歴史的なシンボルである「まいまいず井戸」から発想していますが、それよりもこの空間や、これから変わるであろうこの街の発展にイメージ基準を合わせていることもこの形を作るうえで考えられたことです。

制作者 伊藤 隆道
設置場所 羽村駅東口駅前
(羽村市五ノ神)
設置年度 昭和54年度

7. 小作駅前モニュメント 調和・交流

設置場所 小作駅東口駅前
(羽村市小作台)

